

エコアクション 21～環境経営レポート～

2023 年度(2023 年 6 月～2024 年 5 月)



作成日:2024 年 6 月 28 日

【RE100】クリーンな製品の製造を開始しました

□目次 

□ごあいさつ	2
□組織の概要	3
□対象範囲(認証登録範囲)	3
□取組体制	4
□組織の役割・責任・権限	4
□環境経営目標と実績(2023年度)	5
□環境経営活動の取組計画と評価	6、7
□教育・訓練	7
□環境コミュニケーション(内部)の実施	7
□環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	8
□代表者による全体の評価と見直し・指示	8
□社内取組の紹介	9、10
□1年を振り返って	11

□ごあいさつ

自然環境を守りつつ地域経済の発展に寄与することを経営理念に掲げています。そのために全社をあげて各々の部門で自主的に策定した活動計画に基づいて一つひとつの取り組み事項を確実に遂行していきます

環境経営方針〈環境理念〉

日鐵鋼業株式会社は鉄鋼一次加工販売業及び太陽光発電という事業活動において常に地球と地域の環境の保全に貢献します。

〈環境経営に対する方針〉

- 一 環境経営に積極的に取り組むために環境取組み体制を構築し継続的改善を推進するため次のことに取組みます。
 - 事業活動全般におけるCO2排出量の削減
 - 太陽光発電による電力供給への貢献
 - 事業活動全般における水使用量の削減
 - 事業活動全般における産業廃棄物の削減
 - 提供及び購入する製品、サービスにおける環境配慮に取り組みます。
- 二 環境に関する法律、規則、協定を全社一丸となって遵守します。
- 三 環境に対する本方針と方針遂行の為のシステムを全社員に周知徹底し環境に対する意識の向上につとめます。
- 四 我社周辺地域についても継続して清掃を行うなど地域に貢献します。

制定日:2009年8月10日

改定日:2022年6月6日



日鐵鋼業株式会社
代表取締役 能登伸一

□組織の概要

(1) 社名及び代表者名

日鐵鋼業株式会社 代表取締役 能登 伸一

(2) 所在地

本社・工場 広島県福山市曙町四丁目 16 番 14 号

第 2 工場 広島県福山市曙町四丁目 142 番 2 号

第 3 工場 広島県福山市曙町四丁目 20 番 6 号

多治米倉庫 広島県福山市多治米町六丁目 10-9



(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 能登 薫

担当者 経理総務課 久松 莉奈・岡 成美

TEL☎:084-953-0816

(4) 事業内容

ガス溶断、レーザー切断、のこ切断による鉄鋼の一次加工品の製造及び販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 23.2 億円(2023 年度)

	本社・工場	第 2 工場	第 3 工場	多治米倉庫
従業員	38 人	6 人	9 人	無人
延べ床面積	2,500 m ²	1,650 m ²	2,630 m ²	300 m ²

(6) 事業年度

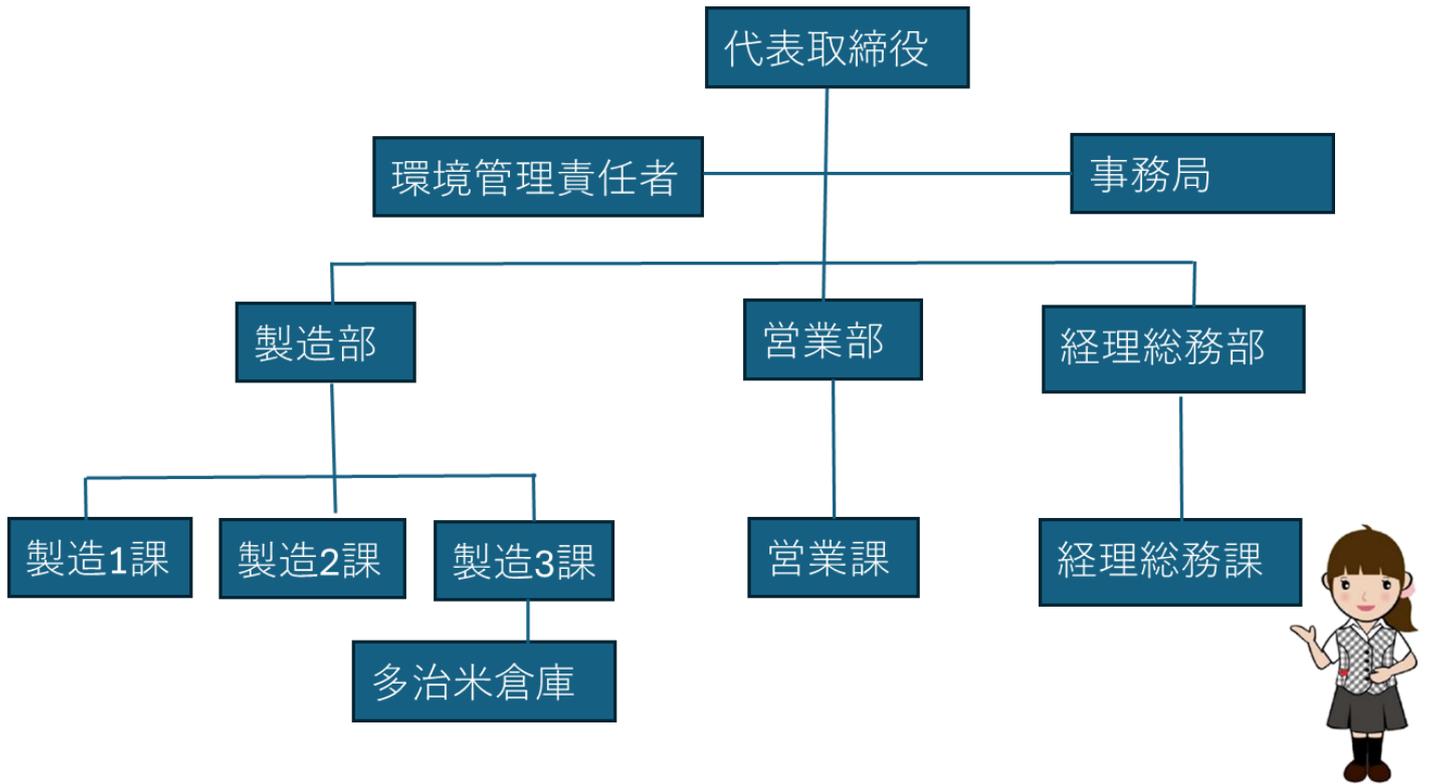
6 月～5 月

□対象範囲(認証登録範囲)

事業活動：鉄鋼一次加工販売業、太陽光発電事業

対象事業所：本社・工場、第2工場、第3工場、多治米倉庫

□取組体制



□組織の役割・責任・権限

代表者(社長)	経営における課題とチャンス明確化
環境管理責任者	環境経営に関する統括責任、環境管理責任者、3S 継続的改善プロセス会議の事務局
事務局	環境経営目標、環境経営活動実施計画書原案の作成と集計・評価
製造部工場長・営業部長	製造部全体における環境経営システム実施
課長	項目の運用管理・問題点の発見、是正、予防処置の実施
社員	個々の取組み実施項目の策定と年間活動計画作成と実行
営業課・経理総務部	各取組み事項における数値記録記載 審査に必要な書類の管理・提出

□環境経営目標と実施(2023 年度)

※中国電力(株)調整後排出係数:0.501(2008 年度実績)を使用

※日本テクノ株式会社調整後排出係数:0.000(2022 年度実績)を使用

項目	単位	2022 年度 実績	2023 年度 目標	2023 年度 実績	達成度 (%) 目標÷実績	削減度 実績÷目標
売上	千円/年	2,310,857	2,500,000	2,328,815	未達成	
電気使用量	kg-CO ₂ /年	498,204	530,000	359,372		33%削減
	kg-CO ₂ /万円	2.16	2.11	1.54		
化石燃料 (ガソリン+軽油)	kg-CO ₂ /年	114,450	122,500	112,424		8%削減
	kg-CO ₂ /万円	0.495	0.490	0.483		
一般廃棄物 排出量	kg/年	695	745	620		17%削減
	kg/百万円	0.301	0.298	0.266		
産業廃棄物 排出量	t/年	14.170	15.175	9.285		40%削減
	t/百万円	0.00613	0.00607	0.00399		
水使用量	m ³ /年	1,963	1,924	1,211		38%削減
	m ³ /百万円	0.85	0.76	0.52		
提供する製品、 サービスの環境配慮	アイテム数/年	27	29	31	7%達成	

※1)2024 年 5 月より本社・工場、第 2 工場、第 3 工場の

電力を日本テクノ株式会社の CO₂フリーメニューに変更したため、CO₂排出量は 0

※日本テクノ株式会社調整後排出係数:0.000(2022 年度実績)を使用

○中長期環境経営目標

項目	単位	2024 年度 目標	2025 年度 目標	2026 年度 目標	2027 年度 目標
売上	千円/年	2,700,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000
電気使用量	kg-CO ₂ /年	0	0	0	0
化石燃料 (ガソリン+軽油)	kg-CO ₂ /年	129,060	135,720	137,700	139,500
	kg-CO ₂ /万円	0.478	0.468	0.459	0.450
一般廃棄物 排出量	kg/年	710	748	759	769
	kg/百万円	0.263	0.258	0.253	0.248
産業廃棄物 排出量	t/年	22.6	23.8	24.0	24.5
	t/百万円	0.0084	0.0082	0.0080	0.0079
水使用量	m ³ /年	1377	1450	1470	1488
	m ³ /百万円	0.51	0.50	0.49	0.48
提供する製品、 サービスの環境配慮	アイテム数/年	33	34	35	36

□環境経営活動の取組計画と評価

取組計画	達成状況	評価(結果と次年度の取組内容)
電力の削減	全体評価 A	
CO ₂ フリーメニューの電力使用	○	今年度から二酸化炭素排出量 0
こまめな消灯	○	徹底・継続する
不良品による再制作削減=QMS 運用	△	仕組みと意識で目標 1/2 以下
デマンドコントロール	○	有効に利用
材料配置換えで効率化(導線検討)	○	監察必要であれば再実施
工程の見える化強化	△	ソフト業者に催促
空調温度の適正化 (冷房 28℃暖房 20℃設定)	○	徹底継続
自動車燃料の削減	全体評価 B	
アイドリングストップ	○	継続
急加速・急停車の防止	○	継続
効率的な配送業務 納期工夫	△	営業担当者の協力で納期まとめなど実行
配送 G と営業 G とのコミュニケーション向上	○	継続して配送会議実施
配送メンバー同士のコミュニケーション向上	△	ラインワークス活用
一般廃棄物の削減	全体評価 B	
裏紙使用	○	徹底継続
分別による古紙のリサイクル化	○	徹底継続
OA 化(ドキュワークス)による印刷物の削減	○	全社員がモニター 2 画面で作業する
残材管理をデータ化(ペーパーレス)	○	徹底継続
作業指示書完全撤廃によるペーパーレス化	△	遅れている、早期に運用開始目指す
産業廃棄物の削減	全体評価 A	
3S 活動によって不要品を購入しない	○	3S 会議で購入品を検討
発注点の見直しを定期的の実施	○	毎月 1 回実施
スクラップ排出量の削減	全体評価 B	
板取の歩留まり向上	○	残材管理が最重要
より正確な残材管理とΣネストシステム活用	○	継続
業務分担による迅速な手配で歩留まり向上	○	優先手配 工事も念頭に行う
ミスによる再製作削減=QMS 構築と運用	△	仕組みと意識で目標 1/2 以下
水道水の削減	全体評価 B	
事務所節水の推進	○	一人ひとりの意識、朝礼等で報告する
のこ切断機の切削水管理	○	手順書を守る(新入社員にも共有)
ガスの散水節約	○	手順書を守る(新入社員にも共有)
雨水有効利用	△	さらに推進

取組計画	達成状況	評価(結果と次年度の取組内容)
提供する製品、サービスの環境配慮	全体評価 A	
レーザー、ガス切断からFB 使用	○	外交営業者がお客様に提案
通い箱利用による梱包資材の節約	○	大手販売先に協力を求める
地域貢献	全体評価 A	
会社周辺の清掃	○	実施日を増やした

□教育・訓練 及び □環境コミュニケーション(内部)の実施

2024 年 4 月に改善活動の年間計画を各部署で制定した。

それをもとに 2 週間に 1 度の継続的改善プロセス会議において、順次社員が出席し、自らの役割・責任を十分に認識する。さらに会議の中で、社員からの意見や提案を募集する場を設けている。

NT3S活動"13thステージ"				テーマ=日織内総幸福向上プロジェクト													
部門スローガン				レーザー...“みんながリーダー” ガス...“一回目輸入に任せず自分から” のこ...“みんなが3S セーの!” 事務所...“思いやりを大切に心を磨く3Sを”													
あるべき姿(戦略)	活動(戦術)	行動(戦術)	担当者	関連G	2024.4	2024.5	2024.6	2024.7	2024.8	2024.9	2024.10	2024.11	2024.12	2025.1	2025.2	2025.3	
GMS	ミス・クレーム対策検討会	全員	発生時														
		発生時															
		発生時															
	スキルマップ教育計画作成	石井	○	○													
		全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	作業内容改善	内山・柏原	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		オペレーター	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
		オペレーター	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
		高橋	福山	福山													
	多能工化教育	朝礼当番	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
ナクア		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	
全員		毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	毎朝	
佐藤・千葉		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ハッカーカーチェック	安田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	岡本	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	
	矢野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
吊り具点検	竹本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	野田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
EA21	ペットボトルリサイクル	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	EA21意識向上ミーティング	佐藤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	スクラップ、ミス、不適合削減と手留まり向上	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	溶接液削減	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

NT3S活動"13thステージ"				テーマ=日織内総幸福向上プロジェクト													
部門スローガン				レーザー...“みんながリーダー” ガス...“一回目輸入に任せず自分から” のこ...“みんなが3S セーの!” 事務所...“思いやりを大切に心を磨く3Sを”													
あるべき姿(戦略)	活動(戦術)	行動(戦術)	担当者	関連G	2024.4	2024.5	2024.6	2024.7	2024.8	2024.9	2024.10	2024.11	2024.12	2025.1	2025.2	2025.3	
営業部	DW整理	坂田	○	○													
		多治米整理	水川・栗之丸	○	○												
		汚染マップ指図書事項改善	坂上・栗之丸	1年間で達成													
	整頓	机の中の整頓	鈴木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		DW整頓	坂田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	清掃	備品の整頓	稲田・久松	○	○												
		敷地内の木だし、バンゴ整頓	栗之丸	随時													
		窓・エアコン・フロン点検	水川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		手洗い場の排水溝	水川・桑田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	清掃	清掃ワゴンのメンテナンス	桑田・栗之丸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社用車の洗車		浅野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ミス削減	朝のミーティングで声出しマルボチチェック	全員	毎朝														
	営業会議で報告、共有、検討、対策実行	浅野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
安全対策	指差呼称(道路横断時、フォークリフト)	栗之丸	横断時毎回														
	花を綺麗にしない	大田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	確実な積み込み様記載/配送会議	専務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	仕掛かりチェック	松本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	現場のオッチング	坂上・栗之丸															
業務改善	木だし、バンゴ等周辺見回り	水川・栗之丸	随時														
	FAX文書振り分け	浅野	随時														
	一般廃棄物 5%削減	岡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	EA21	エコ商品活用とリサイクル	久松・岡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	熱中対策水ペットボトルリサイクル	久松・岡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
高圧ガス保安法	保安監督者の選任、消火設備等	○
消防法	貯蔵開始の届け出、警戒標識等、標識の提示	○
高圧ガス保安法	貯蔵開始の届け出、警戒標識等、標識の提示	○
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙くず、生ゴミ)、産業廃棄物(廃プラ、廃油、木くず)	○
フロン排出抑制法	フロンが含まれるものを使用するものについては 使用時簡易点検 1 回/3 月、定期点検 1~3 回/年	○
電気事業法	技術基準適合維持・工事計画の届出・保安規程の届出	○
プラスチック資源循環法	排出を抑制	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました

なお、違反、訴訟および苦情等も過去 10 年間ありませんでした

□代表者による全体の評価と見直し・指示

①環境関連法規制等の遵守状況:製造部において環境関連法規制等は遵法状態にあることを確認した。

②問題点の是正処置及び予防処置の状況:2024年6月に行った、継続的改善プロセス会議において、問題点や是正及び予防処置を必要とする事象は発生していないことを確認した。

③前回までの代表者の指示事項への対応:

ペーパーレス化、工程の見える化についてはソフトの面の準備が遅れて想定通りに運用開始ができなかった。

不良品による再制作削減の結果が期待通りになっていない。(やはりヒューマンエラー多発)

節水は原単位目標では達成。

(見直し・指示)

② 環境経営方針:指示なし

②環境経営目標及び環境経営計画:指示あり(クリーン製品の製造供給を開始)

③実施体制:指示あり

(工場長が営業部部長に、製造 1 課課長が工場長に着任したため、経理総務部が組織図を変更する)

【総括】

第 54 期の経営スローガンは“日鐵内総幸福実現！”とした。会社の見える化をさらにすすめ、風通しを良くして成果をしっかり還元する。この中で社員一人ひとり全員が EA21 の取り組みをはじめあらゆる改善が自分たちの幸福につながることを自覚し自主的に楽しく実行していくことを期待している。大きなこととしては、今期から実質的に CO₂ 排出量が“0”の電力を使用し始めた。その他、個別の取り組みとしての最重要課題はすでに経営方針発表会で申した通り作業指示書完全撤廃の早期運用とミスクレームを 1/2 以下に削減することです。

前年度は残念ながら売上目標は何年かぶりに未達成に終わってしまった、反省もふまえ第 54 期は組織体制を大きく変えてよりお客様に信頼され愛されることを目指す「豊かさ両立の日鐵働き方改革」実現の為にも今一度経営理念に立ち返り、全社一丸となって仕事(業務と改善活動)に取り組む！

2024年6月25日

代表取締役 能登伸一

□環境経営の取組紹介

【経営方針発表会】



【ソフトボール大会】



【大阪 3S サミット 2023】



【社内開発プロジェクト】

～オリジナル新製品のご紹介～

DRUM CUTTER



ドラム缶を
手速く・美しく・安全に！
2つに分割する優れもの！！



NITETU
日鐵鋼業株式会社



【清掃】



□1 年を振り返って

「みんなが主役！ やり遂げよう未来のために」というスローガンで過ごした第 53 期は売上目標未達という大きな反省項目はあるものの EA21 における改善項目については概ね目標達成できたことはとても嬉しいことです。この成果が効率向上につながり減収でも増益という結果になったものと思われま

す。昨年度も EA21 を含めた年間活動計画を自主的に立案計画し、責任者も決めて取り組みました。2 週間に一度の継続的改善プロセス会議の中でその進捗を確認しながら確実に実施してきました。

2024 年 3 月に日本テクノ株式会社の提案を採用し、5 月から CO₂フリーの電力供給を受けることとしました。今年度は 1 ヶ月だけの効果となりますが、次年度以降は CO₂削減に大きな貢献ができると思います。

さらに、昨年中に計画していた作業指示書完全撤廃は今年度に持ち越しとなりましたが実現されればかなりの量のペーパーレスとなる上に手配作業の大幅な時短効果も期待できます。そして各改善項目で成果が上がった取り組みについては引き続き徹底して実行していきます。

今まで同様この EA21 活動は PDCA サイクルをしっかりと循環させながら全社を挙げて遂行していきます。